



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月11日
上場取引所 東

上場会社名 PGMホールディングス株式会社

コード番号 2466

URL <http://www.pacificgolf.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 草深 多計志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) アンドレ コベンスキー TEL 03 (6408) 8800

四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日

配当支払開始予定日 平成22年9月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	37,347	△2.9	4,069	△14.2	1,532	△55.1	16,535	410.3
21年12月期第2四半期	38,453	—	4,744	—	3,410	—	3,240	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	13,981	25	13,325	79
21年12月期第2四半期	2,741	09	2,508	34

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年12月期第2四半期	268,562		82,907		30.7	69,703	80	
21年12月期	275,441		67,900		24.5	57,061	52	

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 82,449百万円 21年12月期 67,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
21年12月期	—		1,250	00	—		1,250	00	2,500	00
22年12月期	—		1,250	00	—		1,250	00	—	
22年12月期（予想）	—		—		—		1,250	00	2,500	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	81,940	△0.5	13,410	3.8	9,830	△6.3	17,500	102.7	14,803	16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	1,182,852株	21年12月期	1,182,180株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

22年12月期 2 Q	—株	21年12月期	—株
-------------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期 2 Q	1,182,702株	21年12月期 2 Q	1,182,131株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と大きく異なる場合があります。なお、業績予想等に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、改善基調となった海外経済の影響で、製造業を中心に景気持ち直しの気運が見え始めましたが、雇用・家計の改善は出遅れており、デフレ圧力も依然根強く、個人消費は厳しい状況のまま、回復しておりません。

このような状況の下、当企業グループは、春先にかけての低気温や例年のない降雨量などの天候不順に見舞われる中、「カスタマーロイヤリティ（お客様からのご愛顧強化）の向上」を全社戦略とし、既存保有ゴルフ場における収益の増加に積極的に取り組み、特に、お客様に再来場頂くためのサービスの差別化、コース状態の維持改善、会員サービスの強化、自社ウェブサイトからの予約増大、顧客データの有効活用等にポイントを置いて、運営を進めてまいりました。これに加え、ゴルフ場のコストを一段と深く掘り下げ、本社主導の集中購買を加速させることによって、経費削減に努めてまいりました。

また、シンジケートローンによる借入を実行し、金融機関との関係強化を図りました。この借入により、既存証券化ローンを繰上げ完済いたしました。

この他、連結子会社統合によるガバナンス強化と、より効率的なグループ経営を推進していくことを目的として、グループ内組織再編を実行いたしました。

なお、新規ゴルフ場の取得及び運営受託については、引続き優良案件を的確な市場分析のもとで慎重に選別する姿勢を維持しており、当第2四半期連結累計期間では1ゴルフ場の新規取得に止まり、新規運営受託はありませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、前年同期に比べ、来場者数は微増となったものの、販売単価は減少したことから、営業収益37,347百万円（前年同期比1,105百万円減）、営業利益4,069百万円（前年同期比675百万円減）となり、また、借入コストが発生したことから、経常利益1,532百万円（前年同期比1,878百万円減）と、いずれも前連結累計期間を下回る結果となりました。一方、グループ内組織再編の実行を契機に、連結子会社の繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産が増加（繰延税金負債と相殺して表示）し法人税等調整額△15,251百万円を計上したことから、四半期純利益16,535百万円（前年同期比13,295百万円増）と前連結累計期間を上回る結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から6,879百万円減少して268,562百万円となりました。これは主に、預け金10,498百万円の減少、有形固定資産5,170百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末から21,886百万円減少して185,654百万円となりました。償還による社債9,455百万円減少、繰延税金負債12,949百万円減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から15,007百万円増加して82,907百万円となりました。これは主に、四半期利益16,535百万円の計上、利益剰余金の配当1,477百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,082百万円減少し、9,999百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は5,766百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ3,318百万円減少いたしました。前年同期に対する主な増減要因は、増加要因として、支払手数料1,488百万円発生、社債償還益1,276百万円が発生しなかったこと、減少要因として、税金等調整前四半期利益3,785百万円減少、法人税等の支払額1,841百万円増加、法人税等の還付額598百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は1,764百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ307百万円減少いたしました。前年同期に対する主な増減要因は、増加要因として、有形固定資産の取得による支出998百万円増加、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入1,143百万円減少、減少要因として、金銭債権の買入れに伴う支出2,473百万円が発生しなかったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は5,084百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ3,621百万円増加いたしました。前年同期に対する主な増減要因は、増加要因として、長期借入金返済による支出77,330百万円増加、社債の償還による支出9,455百万円発生、減少要因として、長期借入れによる収入75,300百万円増加、預け金10,544百万円減少、新株予約権付社債の買入消却による支出4,218百万円が発生しなかったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月14日に連結業績予想の修正を行っております。

平成22年4月27日に発表いたしました連結業績予想との比較は以下のとおりであります。なお、詳細につきましては、平成22年7月14日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成22年12月期の通期連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	84,000	14,400	10,750	12,800	10,827	45
今回修正予想（B）	81,940	13,410	9,830	17,500	14,803	16
増減額（B－A）	△2,060	△990	△920	4,700	—	—
増減率（%）	△2.5	△6.9	△8.6	36.7	—	—
前期実績 （平成21年12月期）	82,335	12,914	10,486	8,633	7,303	34

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「企業結合に関する会計基準」等の適用

当第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,999	11,081
受取手形及び売掛金	3,806	3,755
たな卸資産	1,991	1,819
繰延税金資産	5,388	3,639
預け金	—	10,498
その他	1,688	3,370
貸倒引当金	△596	△544
流動資産合計	22,277	33,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,288	42,317
機械装置及び運搬具(純額)	2,064	1,947
工具、器具及び備品(純額)	2,439	2,577
土地	172,997	169,671
その他(純額)	3,081	1,187
有形固定資産合計	222,871	217,701
無形固定資産		
のれん	13,343	14,009
その他	5,345	5,507
無形固定資産合計	18,689	19,516
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,666	1,135
その他	3,764	4,180
貸倒引当金	△706	△713
投資その他の資産合計	4,724	4,602
固定資産合計	246,285	241,821
資産合計	268,562	275,441

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	725	811
短期借入金	2,480	2,480
1年内返済予定の長期借入金	14,261	12,155
未払法人税等	292	1,376
賞与引当金	36	100
ポイント引当金	166	169
株主優待引当金	191	71
事務所移転損失引当金	41	147
その他	8,693	8,287
流動負債合計	26,888	25,600
固定負債		
新株予約権付社債	10,050	19,505
長期借入金	90,709	92,965
繰延税金負債	9,665	22,614
退職給付引当金	3,525	3,472
役員退職慰労引当金	124	109
会員預り金	41,697	41,639
その他	2,994	1,633
固定負債合計	158,765	181,940
負債合計	185,654	207,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,704	12,704
資本剰余金	13,886	13,886
利益剰余金	56,195	41,137
株主資本合計	82,785	67,727
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△336	△270
評価・換算差額等合計	△336	△270
新株予約権	457	443
少数株主持分	0	0
純資産合計	82,907	67,900
負債純資産合計	268,562	275,441

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業収益	38,453	37,347
営業原価	28,860	29,232
営業総利益	9,593	8,115
販売費及び一般管理費	4,848	4,045
営業利益	4,744	4,069
営業外収益		
受取利息	10	4
受取賃貸料	20	27
受取保険料	—	46
その他	58	39
営業外収益合計	90	118
営業外費用		
支払利息	1,337	1,126
支払手数料	—	1,488
その他	86	40
営業外費用合計	1,424	2,656
経常利益	3,410	1,532
特別利益		
固定資産売却益	1	38
債務免除益	34	18
社債償還益	1,276	—
収用補償金	—	46
投資有価証券清算益	337	86
過年度固定資産税還付金	—	52
その他	19	54
特別利益合計	1,669	297
特別損失		
固定資産除却損	34	121
合併関連費用	16	8
ヘッジ会計終了損	—	362
その他	0	93
特別損失合計	51	587
税金等調整前四半期純利益	5,028	1,243
法人税、住民税及び事業税	1,151	259
法人税等調整額	636	△15,552
法人税等合計	1,787	△15,292
少数株主利益	0	—
四半期純利益	3,240	16,535

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,028	1,243
減価償却費	2,084	2,090
のれん償却額	517	434
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45	44
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△69
ポイント引当金の増減額(△は減少)	85	△3
株主優待引当金の増減額(△は減少)	85	120
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△137	18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	14
事務所移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	△106
受取利息及び受取配当金	△14	△5
支払利息	1,337	1,126
支払手数料	—	1,488
債務免除益	△34	△18
社債償還益	△1,276	—
投資有価証券清算益	△337	△86
固定資産除却損	—	121
ヘッジ会計終了損	—	362
売上債権の増減額(△は増加)	△327	△98
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48	△159
仕入債務の増減額(△は減少)	23	△85
前受金の増減額(△は減少)	2,313	1,949
その他	174	△136
小計	9,496	8,244
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△1,223	△949
その他の収入	—	99
法人税等の支払額	△1,118	△2,960
法人税等の還付額	1,926	1,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,085	5,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,540	△2,539
無形固定資産の取得による支出	△55	△28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,639	496
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5	—
貸付金の回収による収入	4	4
金銭債権の買入りに伴う支出	△2,473	—
その他	358	302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,071	△1,764

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,508	—
長期借入れによる収入	5,700	81,000
長期借入金の返済による支出	△3,820	△81,150
借入れに伴う手数料支払による支出	—	△1,461
預け金の増減額 (△は増加)	△62	10,481
更生債権等の弁済による支出	—	△2,764
新株予約権付社債の買入消却による支出	△4,218	—
社債の償還による支出	—	△9,455
配当金の支払額	△1,468	△1,471
その他	△101	△263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,462	△5,084
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,550	△1,082
現金及び現金同等物の期首残高	9,180	11,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,731	9,999

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

ゴルフ事業の営業収益及び営業利益の金額は、全セグメントの営業収益の合計及び営業利益の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

本邦以外の国又は地域に存在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

- (1) 生産、受注及び販売の状況

販売実績

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の営業収益を内容別に示すと、次のとおりであります。

営業収益内容（百万円）	前第2四半期連結累計期間 （自 平成21年 1月 1日 至 平成21年 6月 30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 6月 30日）	増 減（百万円）
ゴルフプレー等収益	22,651	22,193	△458
レストラン・商品販売収益	9,885	9,575	△310
年会費等収益	4,082	3,805	△277
その他	1,833	1,773	△60
合計	38,453	37,347	△1,105

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。